

令和8年第3回

幸手市教育委員会定例会会議録

招 集 期 日	令和8年3月18日（水）午前9時30分					
開 会 場 所	幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室					
開会の日時・宣告者	令和8年3月18日（水）午前9時30分				山西 実	
閉会の日時・宣告者	令和8年3月18日（水）午後0時20分				山西 実	
出席 状況	職 名	氏 名	摘 要	職 名	氏 名	摘 要
	教 育 長	山 西 実	出席	教 育 委 員	藤 沼 寛 次	出席
	職務代理者	会 田 研 司	出席	教 育 委 員	古 沢 万 友 実	出席
	教 育 委 員	高 島 勝 也	出席	教 育 委 員	林 晴 実	出席
傍聴人：0人				書 記：佐々木 千晶・坂本 康太		
議 事 参 与 者	職 名	氏 名	職 名	氏 名		
	教 育 部 長	仙 田 茂 雄				
	教育総務課長	大 竹 孝 典				
	学校教育課長	中 沢 朋 宏				
	社会教育課長	小 山 紀 子				

会議事件名	顛末
<p><b>開 会</b> 午前9時30分</p> <p><b>日程第1</b> <b>前回会議録の承認</b></p> <p><b>日程第2</b> <b>協議事項</b> <b>健康・安全教育について～幸手市立吉田小学校の取組～</b></p>	<p>教育長 開会を宣する。</p> <p>教育長 令和8年第2回教育委員会定例会及び令和8年第1回臨時会の会議録の内容について質問を求める。  <b>《質疑》</b> 質疑なし。  <b>《承認》</b> 全員異議なく承認。</p> <p>学校教育課長 資料により説明する。  <b>《質疑》</b></p> <p>藤沼委員 地域の協力を得て大変よく取り組んでおり、感動している。交通事故ゼロ表彰などたくさんの成果が出ており、今までの歴史の中で培ったものであると感じた。  行事などの体験は大切な機会だと考える。事故や怪我のないように十分に注意してほしい。性教育は大変重要だと考えており、出来る範囲で取り組んでほしい。</p> <p>高島委員 実際に体験する学びは大変良い経験だと感じる。実際に体験したことは、映像を見てもその時の体験が蘇ってくる。様々な学習の過程で、体験活動を振り返ることができて大変深い学びであると感じた。</p> <p>古沢委員 子どもたちの生活に直結している体験が多く、意義深い取組だと感じた。親が伝えるより学校で習う方が、子どもたちに受け入れられやすいと日々感じている。これまで積み重ねてきた価値のある取り組みを学校再編後もぜひ引き継いで続けてほしい。</p> <p>林委員 防災に関しても体験を通じて家庭や地域の協力を得て</p>

主体的に学ばせているのは、具体的かつ効果的であると  
感じた。

この取組を拝見して小学校は勉強だけでなく、人として  
どのようにより良く生きていくのかというスケールの  
大きい教育を行っていると感じ、感心した。

2点質問がある。1点目は、意識向上だけでなく、成果  
が数値として表れていると考えられるので、その成果が  
どのようになっているのか興味を持った。

また、2点目はこの素晴らしい取組を他校にどのよう  
に広めているのか知りたい。

#### 学校教育課

1点目の回答として、本日数値はお示しできないが、各  
学校では捕捉している。後ほどデータで送付したい。

2点目の吉田小学校の取組を他校へ広げる取組につい  
ては、吉田小学校は地域との密接な関わりもあって実現  
できている面もあるため、他の地域に広めていけるかと  
いうと難しい面もあると考える。

#### 高島委員

地域とのつながりがないからではなく、教員の発想次  
第で実現することができるのではないかと考える。2024  
年のOECDの国際教員指導環境調査で、日本と他国の  
指導方法の大きな違いは、批判的に考える必要がある課  
題を提示することが日本は2割なのに対し、他国は6割  
であった。批判的に物事をとらえる教育をもって教員が  
取り組んで、学習を深めていくべきと感じた。

#### 会田職務代理者

吉田小学校は、小規模校と農村地域であることなどを  
うまく活用し、食育ができる環境が整っていると感じて  
いる。

吉田の地域の特色として、スポーツ少年団の関わりな  
どを見ていくと、父親が卒業生であったりして、同じ地域  
に住んでいる先輩後輩の関係で参加する人が増えていく  
ように感じた。

学校教育の現場に携わるのは、以前は母親がメインで  
あったが、現在は父親も携わっていく時代となっている。  
吉田地区は父親も多く携わっており、それが地域との連  
携が強い要因の一つなのかと感じている。父親がどのよ  
うに関わるのが、学校運営に大きく影響しているのだ

**日程第3  
議案第8号  
幸手市教育行政重点  
施策について**

はないかと感じた。吉田地区はそれがスムーズにできたので防災教育やサバイバルキャンプの様な体験学習が上手く回っているのではないかと思う。

教育部長及び各課長

資料により説明する。

**《質疑》**

藤沼委員

環境の整備の中で、スクールガードの高齢化や、担い手不足という意見をよく耳にするので、継続事業ではあるが、力を入れていただきたい。

スペシャルサポートルームの状況はどうなっているのか実績等を教えて欲しい。

公民館クラブ活動と社会福祉協議会のボランティア活動の重複点を精査すればより良い活動になると考える。

郷土資料館も精力的に活動を行っている。継続的に事業を続けてほしい。

教育部長

令和8年第1回市議会定例会一般質問で、宮澤議員から、スクールガードの成り手が少ないということから一般質問をいただいております、今まで学校主体で募集をしていたが、教育委員会主体でチラシを作成し募集を行った、令和7年度からボランティア保険に加入したりするなどした。

学校教育課長

スペシャルサポートルームについては、今年度は数名の配置で進めている現状である。教室以外の居場所があることで安心感をもって登校できるため、ニーズは高まっている状況であり、数値的なものは検証を進めつつ後日お示ししていきたい。

高島委員

新聞を活用した事業は、大変すばらしいことであると感じた。全国的に長文の理解が乏しくなっているため、新聞を活用して読解力の向上を図る取組は行ってほしい。効果的な活用に向けて、その方法について現場も含めて検討してほしい。

また、様々な方面から学校現場のための働き方改革を進めて行ってほしい。

教育部長

令和7年9月の一般質問で四本議員から学校図書館の新聞整備について質問があり、令和8年度から小学校2紙、中学校3紙の一般紙の新聞の整備を進めるが、どのように活用するのも含めて検討していきたい。

林委員

図書館運営について、電子図書はどの層にどれだけ利用される想定なのか教えてほしい。

社会教育課長

電子図書館利用者の年代に係るデータについては現時点では把握していないので回答はできないが、令和8年度は、学校の児童・生徒を対象とした読書活動に役立つような読み放題パックの導入を中心に進めていきたい。

藤沼委員

令和7年度に比べて令和8年度は特に力を入れていることについて、数点教えて欲しい。また、それに対する費用でいくら計上しているのか教えてほしい。

教育部長

学校給食費の無償化に係る予算として小学校費は概算で9,500万円、中学校費は6,000万円、そのほか学校給食費補助金として300万円を計上している。

また、東小中学校の既存校舎の改修及び増築校舎の工事で6億円程度の予算を計上している。

さらに、空調設備及びLED設置工事は令和8年度全体で当初予算4,297,700円を計上している。令和8年度は長倉小学校、幸手中学校で空調設置工事を行う予定である。

体育館への空調設備設置やLED化などの工事費がある関係で、令和7年度と8年度を比較すると教育費全体で約2億8,000万円の増額となっている。

社会教育課長

工事の関係では公民館の照明LED化工事24,491,000円を計上しており、令和8年度に工事を行う。総合運動公園のテニスコートの照明LED化工事は38万円で工事を行う。

宝くじスポーツフェアドリームバレーボールは宝くじ

<p><b>議案第9号</b>  <b>「幸手市立学校における教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定について</b></p>	<p>の費用で行うため指定管理料のみで行うことができる。</p> <p>教育部長</p> <p>令和8年度は、西中学校と幸手小学校の体育館への空調設備設置工事の設計を行う予定で、このまま進めることができれば、令和10年度には、廃校となる学校を除く全ての小・中学校の体育館に空調設備が設置できる予定である。</p> <p>学校給食費の無償化については、中学校は国や県からの補助等がなく市費の持ち出しとなるが、市長公約であるためしっかり取り組んでいきたい。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
	<p>学校教育課長</p> <p>資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>藤沼委員</p> <p>12 ページ目にあるフォローアップ体制と施行方法を具体的に教えてほしい。</p> <p>学校教育課長</p> <p>教職員アンケートを指標の一つとして、それを基に教育委員会としてできること、できないことを精査して現場にフィードバックしていきたい。また、市長部局との総合教育会議を通じて情報共有しながら連携し、市全体の問題として関わっていきたい。</p> <p>そのほか、ホームページへ掲載することで、第三者からの意見をいただき、計画を進めていきたい。</p> <p>会田職務代理者</p> <p>働き方改革を長期にわたって行っている中で、時間外在校時間が長くなってしまふ一番の要因は何か。</p> <p>学校教育課長</p> <p>本市の状況では、時間外勤務時間が80時間を超過する職員はほとんどゼロに近いので、改善はしてきている。しかしながら、80時間未満であれば良いわけではないので、時間外勤務が少しでも減るように働き掛けていきたい。業務に対する教員の熱意なども要因のひとつではないかと考えるので、難しい部分もある。</p> <p>会田職務代理者</p>

	<p>教員になりたい学生も減ってきている。保護者が学校に求めていくものを変えていかないと、根本的な改善にはならないと考える。</p> <p>長野県長野市は部活動をやめてしまった。学校の教員は授業に関する事だけを考えて、その時間内だけ子どもと向き合っていくのは難しいのではないかと考えた。</p> <p>時間外在校時間が減れば、働きやすいのかということも必ずしも直結するとも限らないので大変難しい問題だと感じた。</p> <p>しかしながら、業務量の改善等に行っていないといけけないので、効率化は図らないといけけない。</p> <p>高島委員</p> <p>時間外在校時間は計れるが、ウェルビーイングは量が計れないため、各学校で行った方が良いかと感じた。評価基準がないものについては、学校経営の中で一定の指標とするのは良いと考えるが、市全体の目標に掲げるのは疑問に感じた。</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第10号</b> 幸手市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則</p> <p><b>議案第11号</b> 幸手市立小・中学校職員服務規程の一部を改正する規則</p>	<p>学校教育課長</p> <p>資料により説明する。</p> <p>なお、学校職員の服務に係る追加の例規改正の決裁が3月末になるとの通知が県からあった。そこで、この決裁を踏まえて市の改正案の御審議いただく暇がないことから、追加の例規改正案について、教育長の専決処分とし、4月の定例会で専決報告したい。</p> <p>出席委員</p> <p>全員異議なし。</p> <p>《質疑》 質疑なし</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>議案第12号</b> 幸手市立小・中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則</p>	<p>学校教育課長</p> <p>資料により説明する。</p> <p>《質疑》 質疑なし</p> <p>《採決》 全員異議なく原案どおり議決。</p>

<p><b>議案第13号</b>  <b>幸手市民文化体育館</b>  <b>設置及び管理条例施</b>  <b>行規則の一部を改正</b>  <b>する規則</b></p>	<p>社会教育課長  資料により説明する。  <b>《質疑》</b>  藤沼委員  温水シャワーの利用時間を5分から15分にした理由はなぜか。  社会教育課長  以前はコイン式であったものを、窓口支払い式に変更したので、更衣室からの移動時間を考慮して15分に変更した。  混みあっている状況では長時間の利用は遠慮してもらう場合もある。15分を予定していて超過した場合は、超過料金をもらうことになる。  <b>《採決》</b> 全員異議なく原案どおり議決。</p>
<p><b>専決報告第4号</b>  <b>令和7年度幸手市一</b>  <b>般会計補正予算(第1</b>  <b>2号)教育費の要求に</b>  <b>ついて</b></p>	<p>教育部長  資料により説明する。  <b>《質疑》</b>  藤沼委員  繰越ということで間違いないか。工事を完了して検査した後は固定資産の計上は令和8年度に計上という認識で良いか。  教育部長  そのとおりである。  <b>《承認》</b> 全員異議なく承認。</p>
<p><b>日程第3</b>  <b>行政報告</b>  <b>1 教育長報告</b></p>	<p>教育長  1 各種教育長会議等  2 令和8年第1回幸手市議会定例会  3 各種研修会等  教育部長  令和8年第1回幸手市議会定例会一般質問（教委担当部</p>

<p><b>2 事務局からの 主要な報告</b></p>	<p>分) の趣旨</p> <p>教育総務課長</p> <p>1 学校再編について</p> <p>学校教育課長</p> <p>1 令和7年度学校評価について</p> <p>2 令和7年度体罰・性暴力等調査について</p> <p>3 令和7年度学校における働き方改革について</p> <p>4 3月中旬から4月初旬の行事予定</p> <p>社会教育課長</p> <p>1 幸手市立図書館協議会</p> <p>2 幸手市青少年問題協議会</p> <p>3 第32回ランチタイムコンサート</p> <p>4 第33回幸手市さくらマラソン大会</p> <p>社会教育課長（公民館）</p> <p>1 利用状況</p> <p>2 事業報告</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（郷土資料館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 今後の事業予定</p> <p>社会教育課長（図書館）</p> <p>1 報告事項</p> <p>2 利用状況</p> <p>3 今後の事業予定</p> <p>4 予約の多い図書（上位5冊）</p> <p>社会教育課長（体育施設）</p> <p>1 利用状況</p> <p>2 自主事業</p> <p>3 今後の自主事業</p> <p>について資料により説明する。</p> <p>《質疑》</p> <p>会田職務代理者</p> <p>令和7年度体罰・性暴力等調査については、教育委員会 が回収する方式なので、保護者の回収率が低いのと、教職 員の回収率が100%でないのが気になった。</p> <p>校長に提出をさせてその報告を受けた方が、回答率も 高いし、校長自身が学校の実態を把握する必要があるの</p>
----------------------------------	--

<p><b>日程第4</b> <b>その他</b> <b>1 次回以降の会議</b> <b>日程</b></p>	<p>ではないか。 学校教育課長 インターネット回答の方式をとったので、今回はこのような報告となった。保護者からの回答は体罰があるとしたら、学校に報告しにくいのではないかと考えてこの方法とした。</p> <p>会田職務代理者 校長の学校運営の面からも少なくとも教職員記名方式で100%提出させる方がよいのではないかと考える。</p> <p>高島委員 体罰の調査は、学校運営に大きく関わるものであるため、学校を守るためにも教職員は全員から出させるべきであると考え。しかし、今の時代でもあるので、より良い方法がどのようなものかは検討して欲しい。 また、きちんと回答させることが抑止力につながる調査になると考えるので適切な方法で調査をしてほしい。</p> <p>林委員 教員の働き方改革による負担軽減は必要ではあるが、結果として子どもと関わる時間が減ってしまう可能性もあることから、負担の軽減とやりがいは別の視点で考える必要があると知り、勉強となった。 私立高校の吹奏楽部の公演を見る機会があったが、忙しい部活動の中で、勉強も両立させており、卒業後も難関校と言われる学校への進学も多数であった。効率良く勉強に部活に取り組んでいる私立学校と、働き方改革のために業務の縮小をしていく公立学校との経験の格差を感じた。</p> <p>各委員の意見を調整した結果、次回以降の会議について、次のとおり決定する。</p> <p>(1) 令和8年第2回臨時会 日時 令和8年3月19日(木) 午後5時30分 会場 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p>
--	--

<p><b>2 次回の協議事項</b></p> <p><b>3 その他</b></p> <p><b>閉 会</b> 午後0時20分</p>	<p>(2) 令和8年第1回幸手市総合教育会議 日時 令和8年4月21日(火) 午前9時00分 場所 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p> <p>(3) 令和8年第4回幸手市教育委員会定例会 日時 令和8年4月21日(火) 午前9時30分 場所 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p> <p>(4) 令和8年第5回幸手市教育委員会定例会 日時 令和8年5月19日(火) 午前9時00分 場所 幸手市役所第二庁舎 2階 第2会議室</p> <p>教育総務課長 協議の結果、割愛とする。</p> <p>なし。</p> <p>教育長 閉会を宣す。</p>
---	---

<p>他 特 に 重 要 と 認 め る 事 項</p>	<p>な し</p>
	<p>上記会議の顛末を記載し相違ないことを証するため、ここに署名する。</p> <p style="text-align: right;">令和8年4月21日</p> <p style="text-align: center;">教 育 長 山 西 実</p> <p>署名</p> <p style="text-align: center;">署 名 委 員 藤 沼 寛 次</p>